

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院循環器内科に、急性冠症候群で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学循環器内科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

急性冠症候群と気候に関する後ろ向き観察研究に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学 内科学第四講座 講師 山野貴司

3. 研究の目的

冠急性冠症候群発症時の時間を調査し気温、湿度、気圧がどのように影響しているかを検討し、入院診療録（カルテ）の情報から、季節などの気候の影響が急性冠症候群の臨床的な重症度にどのように影響しているかを検討も検討を行います。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

胸痛症候群の患者さんで、2021年（令和3年）1月1日から12月31日までの期間中に、カテーテル検査を受け、急性冠症候群と診断された方を対象とします。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者さんの胸痛が出現した日時、入院時の年齢、性別、身長、体重、糖尿病の有無、高血圧の有無、脂質異常症の有無、喫煙歴の有無、飲酒歴の有無、冠動脈疾患の家族歴、内服歴（アスピリン、ワルファリン、ACEI/ARB、β遮断薬、硝酸薬、スタチン）、入院時の血圧、心拍数、血液検査（血算、生化学）、カテーテルの所見、入院後30日以内の予後（急性冠症候群の発症の有無など）に関する情報です。

(3) 方法

患者さんの胸痛が出現した日時からその際の気候の条件（気温、湿度、気圧）を検索し、急性冠症候群との関連について検討を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学 内科学第四講座 担当医師 山野貴司

TEL : 073-441-0621 FAX : 073-446-0631

E-mail : taruy@wakayama-med. ac. jp